

美里町



馬上蛸崎神社と後藤忠



仙台城の有名な騎馬像。政宗公の跨る馬に関する  
言い伝えがあります。美里町内<sup>ふどうどう</sup>不動堂の地を治めた  
仙台藩宿老の後藤家。その初代に<sup>まごべえのぶやす</sup>孫兵衛信康という  
武将がいました。<sup>のぶやす</sup>信康は、百姓の<sup>しんぞう</sup>新蔵が飼う黒毛の  
馬があまりに素晴らしいので、主君政宗公に献上し  
ました。政宗公はたいそう喜ばれ、「<sup>ごとうぐろ</sup>後藤黒」とい  
う名を付けて、たいへん可愛がりました。

後藤黒は政宗公とともに戦場を駆け巡り、連戦連勝の功を上げましたが、年  
老いてしまい、大阪の陣には連れていってもらえませんでした。残された後藤  
黒は深く悲しみ、仙台城の崖から身を投げて死んでしまいました。大阪から戻  
った政宗公は、その死を<sup>いた</sup>悼み、落ちた<sup>かきざき</sup>蛎崎の地に<sup>まつ</sup>祀ってその霊を慰めました。

明治初期に、信康と新蔵の子孫がその<sup>みたま</sup>御霊を分けて持ち帰り、不動堂にもお  
社を建立しました。今なお「<sup>ばじょうかきざきじんじゃ</sup>馬上蛎崎神社」として大切に祀られています。